

MEMMA



回覧

2021

11.27

Sat

13:00-16:00

SUMMIT

第3回

純国産メンマサミット実行委員会

純国産メンマサミット

in 裾野

全国で、社会状況の変化に伴う竹需要量の減少によって整備がされない、いわゆる“放置竹林”が環境・治水・生態系・防災・コミュニティなどさまざまな面で問題になっています。

本サミットは、“美味しく食べて竹林整備”を合言葉に、国産メンマの製造によって竹林整備に取り組む全国各地の仲間が一堂に会し、情報交換などを行い、互いの活動の質を高めることで、消費量の約99%を海外産に頼るメンマの国産化を図りつつ、もって竹林の適切な保全に寄与するものです。

また、積極的な情報発信などを通じ、国産メンマの需要や資源としての竹林保全の必要性を喚起し、本活動の趣旨に賛同する次なる活動者の出現を期待するものです。

参加料 無料

参加資格

国産メンマへの利用による竹林整備に関心のある人
(法人・個人不問)

定員 100名 応募者多数の
場合は抽選

申し込みフォーム

新型コロナウイルス感染症対策のため
スマホから右記QRコードを読み取り
必要事項を入力しエントリーしてください

場所 裾野市生涯学習センター
3階 学習ホール



PROGRAM

13:00~13:10	オープニング
13:10~13:20	開会・主催者あいさつ・来賓あいさつ
13:20~14:10	基調講演(日高栄治氏)
14:10~14:45	全国各地の事例発表リレー(15分×2団体)
14:45~14:55	休憩
14:55~15:30	全国各地の事例発表リレー(15分×2団体)
15:30~15:50	純国産メンマプロジェクト発足
15:50~16:00	お楽しみ抽選会・閉会

基調講演

演題: 美味しく食べて竹林整備



EIJI
HITAKA

福岡県 純国産メンマのパイオニア
日高 栄治氏

糸島コミュニティ事業研究会 主宰
NPO法人 NAP福岡センター 理事
アブレ有限公司 代表取締役社長

1946年生まれ。2000年の早期定年退職後、自身の会社設立に併せ、地域の課題を地域の人たちが主体となって解決する地域づくり活動に邁進する。2012年に全国的な問題となっている放置竹林を解決すべく、食用竹パウダーと竹ぬか床を開発する。2014年から食用に適さないと言われていた1~2メートルに成長したタケノコ(幼竹)の利用法を研究し、翌年、**未だ誰も手掛けていなかった“純国産メンマ”の製造法を確立**する。その後も品質向上のための研究を続ける傍ら、ノウハウを求める全国からの声に応え、各地で純国産メンマの製造による竹林整備の指導にあたる。中学時代から続ける剣道で培った強靱な身体と絶対に折れない心をもって、全国35都府県に広がった純国産メンマ作りによる竹林整備をけん引している。

全国各地の事例発表リレー



MUNEO
SONEHARA

長野県 天竜川鷺流峡復活プロジェクト
曾根原 宗夫氏

1964年生まれ。元天竜舟下りの腕利き船頭。1961年の天竜川氾濫で放置された竹林に覆われた鷺流峡(かりゅうきょう)の姿に心を痛め、自然豊かな以前の姿を取り戻すべく、2012年に船頭有志と竹林整備を開始。その後、地域住民と、竹筏や竹炭・竹灯籠などの企画を次々に実現。2017年から国産メンマ製造に着手し、天竜いなちくの名で親しまれる商品に成長させた。



YOSHINORI
FUKASAWA

山口県 国産メンマの伝道師
深澤 義則氏

1973年生まれ。前職から放置竹林の持続可能な資源化を目指し全国を行脚。2014年に日高さんとの衝撃的な出会いを機に純国産メンマプロジェクトを発案。2017年に京都で第1回純国産メンマプロジェクトキックオフ式典をプロデュース。純国産メンマプロジェクトの事務局とサラリーマンという二足のわらじを履きながら、国産メンマの伝道師として活躍している。



YUKIO
KOIZUMI

静岡県 株式会社 季咲亭
小泉 幸雄氏

2007年に漬物製造業・食品卸販売業として静岡の地産地消を広めたい思いで起業し、株式会社季咲亭を設立。県内をはじめ国内のスーパーに漬物を販売している。2009年から一社一村しずおか運動に取り組み、廃棄農産物をメロン漬として資源化している。2015年に竹害を知り、静岡めんまプロジェクトを立ち上げ、浅漬けの技術をいかした“季咲亭・静岡めんま”を開発した。



MIKAKO
CHIBA

千葉県 一般社団法人 もりびと
千葉 美賀子氏

2006年NPO法人みんなの森の村の事務局就任後に、竹や竹炭のパウダーを使った加工品の販売を始める。2014年一般社団法人もりびとを設立。2017年、福岡県糸島市を訪れメンマ作りを日高さんに師事し、千葉県中房総エリアで、中房総さとやま活用協議会(2市3町行と8団体の農商工連携体)を立ち上げ、メンマ作りを開始。2020年から房の駅にて本格販売を始める。

主催 NPO法人 みらい建設部(静岡県裾野市)
後援 静岡県・裾野市
協力 株式会社 季咲亭(静岡県静岡市)
担当 事務局 宮坂 里司 ☎090-7865-6736
✉ miraikensetsubu@gmail.com

新型コロナウイルス感染症への対応



※対応は、行政の方針に沿って随時変更する場合があります